

薩摩郡医師会 在宅医療に関する住民アンケート結果(概要)

薩摩郡医師会では、医療・福祉・介護の各関係機関や事業所、行政等の多職種と連携し、過疎・少子高齢化が進む地域の皆様が住み慣れた地域で自分らしく過ごすことができる在宅医療の体制づくりを推進しています。そのなかで、地域の皆様の在宅医療に対する理解及び要望を把握する目的で、薩摩郡医師会圏域(さつま町と薩摩川内市の一部地域)にお住まいの方2000人を無作為に選びアンケート調査を実施いたしました。この度、結果をまとめましたのでご報告致します。

1 アンケート概要

- (1) 調査日程:平成26年9月
- (2) 調査方法:郵送 無記名自記式
- (3) 対象者:薩摩郡医師会圏域(さつま町・薩摩川内市の一部地域)に居住する2000人
- (4) 回収数:1091人(回収率:54.6%)

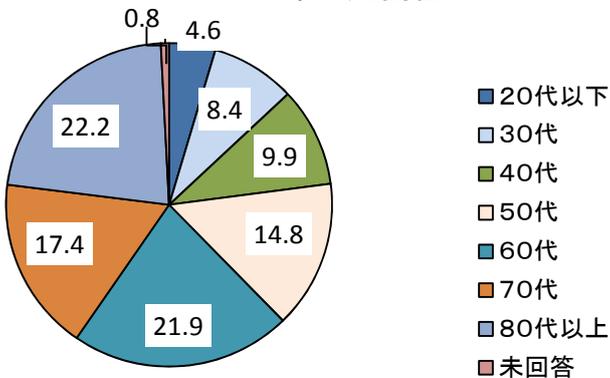
2 回答結果

1) 地区別回収率

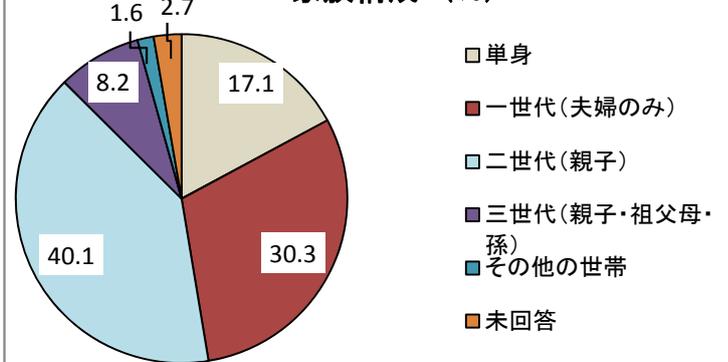
| 地区 | 配布数 | 回答数 | 回収率(%) |
|-----------|------|------|--------|
| さつま町 | 1400 | 795 | 56.8 |
| 薩摩川内市樋脇町 | 150 | 70 | 46.7 |
| 薩摩川内市入来町 | 150 | 66 | 44.0 |
| 薩摩川内市東郷町 | 150 | 63 | 42.0 |
| 薩摩川内市祁答院町 | 150 | 67 | 44.7 |
| 薩摩川内市地区計 | 600 | 266 | 44.3 |
| その他未回答等 | | 30 | |
| 総計 | 2000 | 1091 | 54.6 |

- ◆ 性別では、男性437人(40%)、女性644人(60%)であった。
- ◆ 年代別では、60代以上で6割以上を占めた。
- ◆ 家族構成別では、二世帯(親子)が最も多く、ついで夫婦のみの世帯が多かった。

年代別割合 (%)

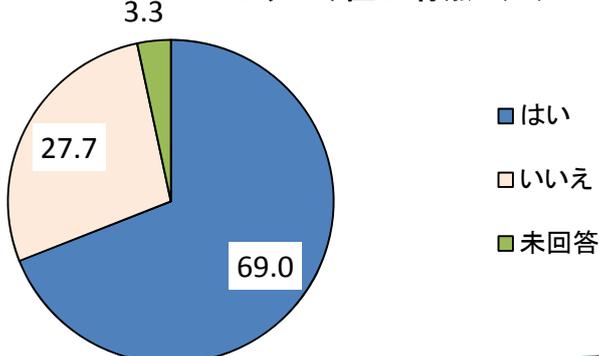


家族構成 (%)

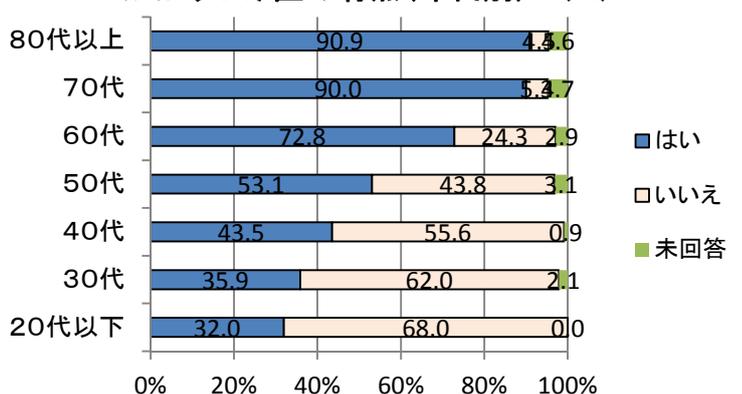


2) かかりつけ医について

かかりつけ医の有無 (%)

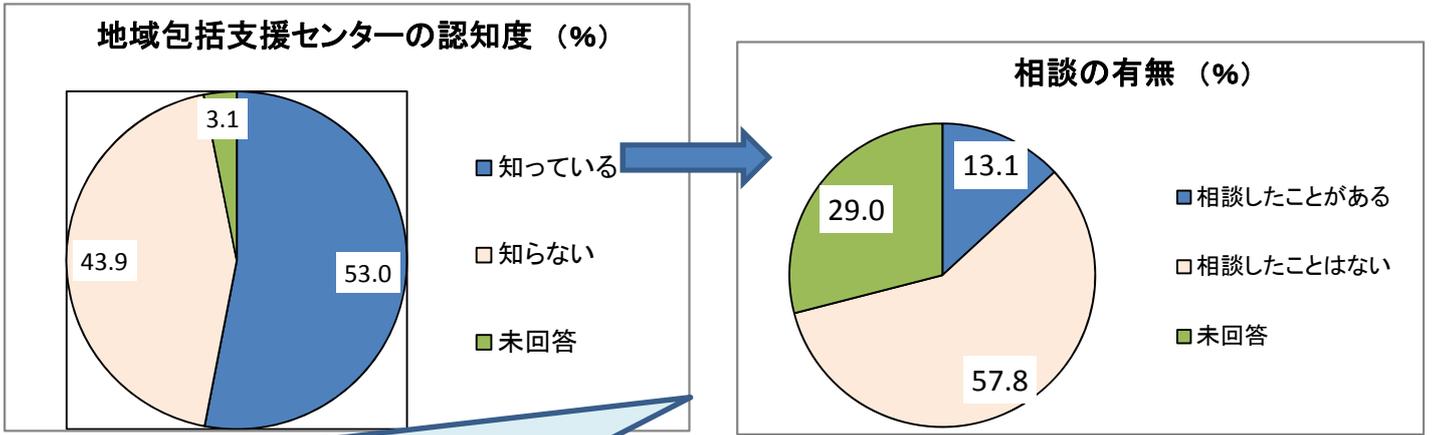


かかりつけ医の有無(年代別) (%)



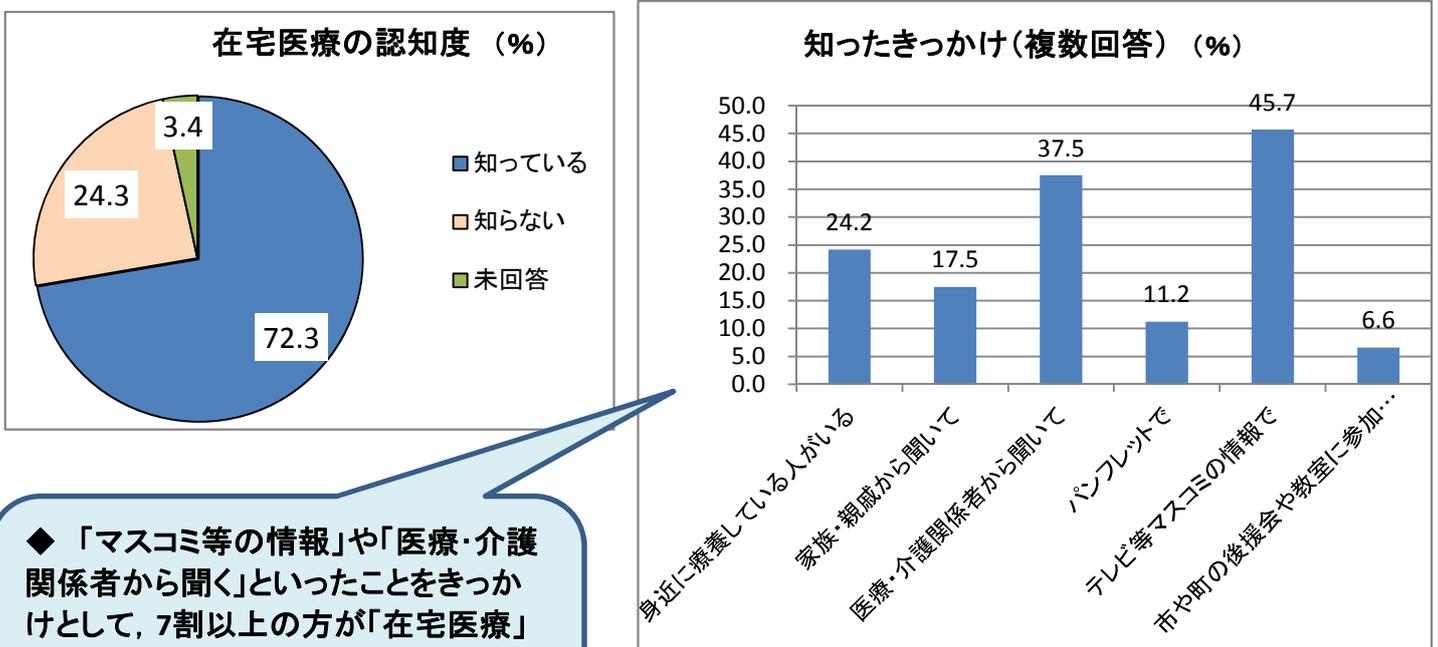
- ◆ 全体の7割近くが、かかりつけ医をもっている。
- ◆ 年齢があがるにつれてかかりつけ医をもつ方が増え、70代以上では9割と高い。

3) 地域包括支援センターについて



◆ 全体の5割以上の方が「地域包括支援センター」を知っていると回答しているが、そのうち、「相談したことがある」と回答したのは、13%と少ない。

4) 在宅医療について

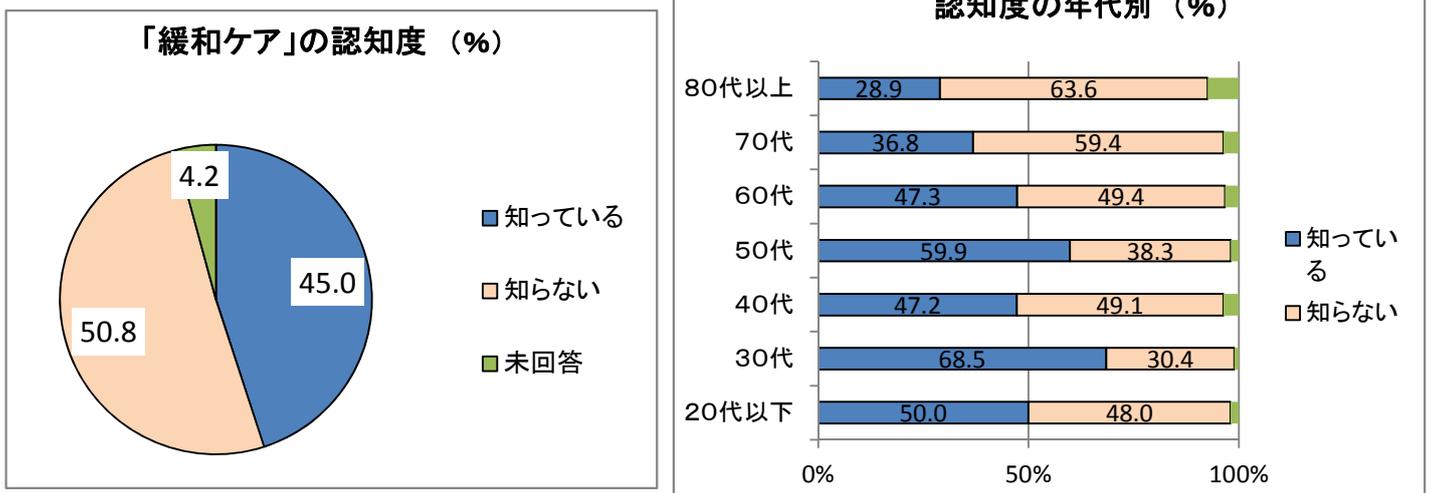


◆ 「マスコミ等の情報」や「医療・介護関係者から聞く」といったことをきっかけとして、7割以上の方が「在宅医療」を知っている。

◆ 在宅医療に関する講演会も7割以上が参加を希望している。

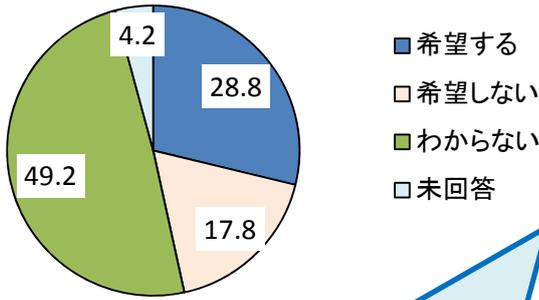
◆ 緩和ケアの認知度は、30代が最も高く、ついで50代が高い。

5) 緩和ケアについて

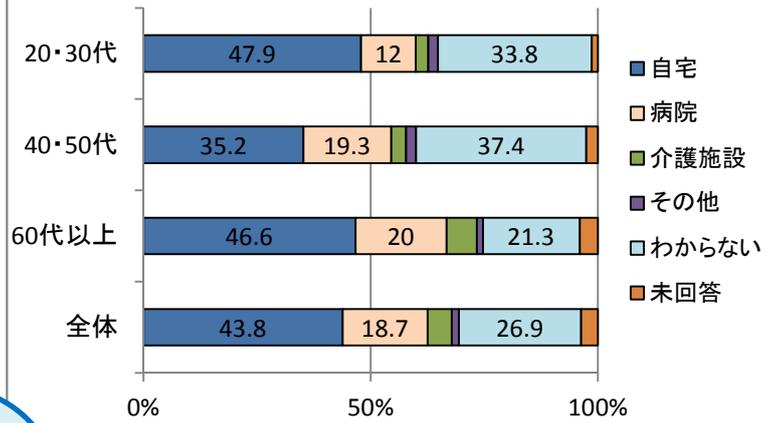


6) 在宅療養の希望と最期を迎えたい場所について

自宅(在宅)療養の希望の有無 (%)



最期を迎えたい場所 (%)

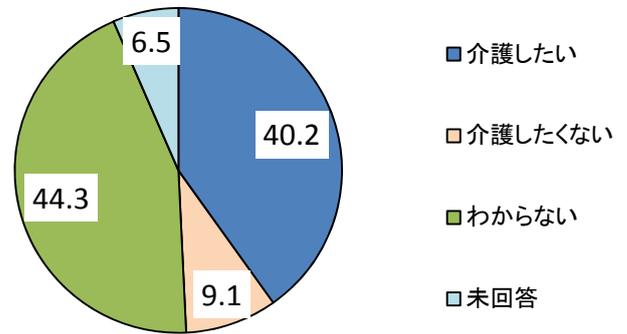


◆ 半数近くの方が、「自宅で最期を迎えたい」と希望しているが、長期の療養が必要となった場合に自宅(在宅)での療養を希望するかについては「わからない」と回答した者が多い。

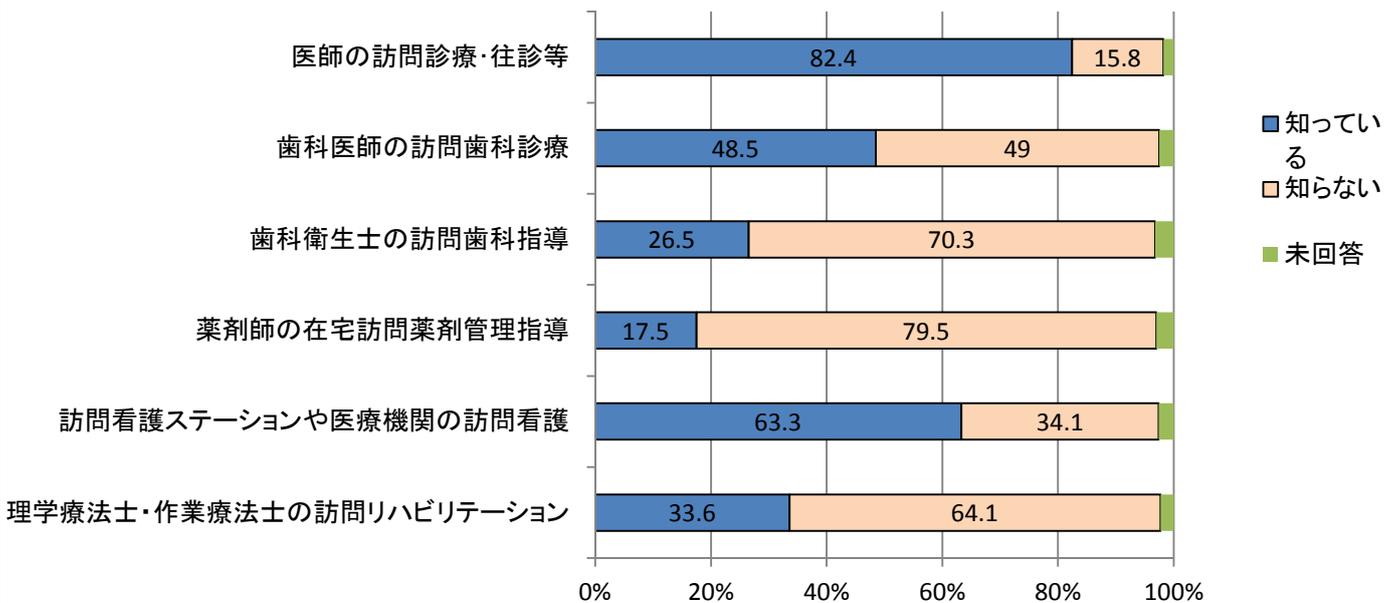
◆ 在宅療養を希望しない理由としては、「家族への負担、迷惑をかけたくない」が最も多く、次いで「看護をしてくれる人がいない」が多かった。

◆ 介護したくない理由としては、「自分が病気や体が不自由」との理由が多く、ついで、「高齢のため」、「仕事のため介護したくてもできない」という理由が多かった。

家族が在宅療養を希望した場合、介護したいか (%)



在宅医療を支える各職種の認知度について (%)



◆ 医師の訪問診療・往診や訪問看護ステーションや医療機関の訪問看護は比較的認知度が高いが、在宅訪問薬剤管理指導や歯科衛生士の訪問歯科指導はあまり知られておらず、今後広報していくことが必要だと思われる。